

## (平成23年度版)杉並区内の障害者に関わる連絡会議体

資料7

| 分野         | ネットワーク名(連絡先)        | 主催(連絡先)   | 参加機関   | 開催回数  | 取り組み状況(23年5月現在)  |
|------------|---------------------|---|--|-------|--|
| 相談         | 委託相談支援事業所連絡会        | 障害者生活支援課<br>(3312-2111)<br>(内線2274)                     | 障害者生活支援課、委託相談支援事業所7ヶ所                          | 月1回   | 相談支援の状況の月例の報告をしている。虐待に関連した相談があれば必ず報告することとした。サービス利用計画作成推進にむけての方策などについて意見交換を実施。福祉事務所の知的障害担当ワーカーとの意見交換会を実施。子ども発達センター見学会を実施、療育機関との意見交換を実施した。   |
| 就労         | 雇用支援ネットワーク実務担当者会    | 障害者雇用支援事業団<br>(5346-3250)                               | 就労移行支援事業所・作業所就労担当者、ハローワークコーディネーター、特別支援学校進路担当、区 | 月1回   | 22年度は、福祉施設からの就職者は32名と過去最大。作業所の就労支援担当者の意識の向上が大きい。今年度も引き続き、各障害者施設からの就労支援の状況や課題についての報告、情報交換を実施。就労支援担当者向けのビジネスマナー講座を実施し、就労支援のスキルアップを行なった。  |
| 工賃アップ      | すぎなみ仕事ねっと           | 障害者生活支援課、すぎなみ仕事ねっと(障害者生活支援課)<br>(3312-2111)<br>(内線2274) | 作業所等16施設、区                                     | 月1回   | 前年度より、工賃アップした作業所は20施設/26施設中。工賃アップのための情報交換、共同受注の情報、イベントの企画実施、ホームページの活用などの取り組みなどの内容で話し合いをしている。会議への企業の参加もあり、企業と作業所の共同企画について検討中。共同受注は減少。自主生産品の販路拡大を求める声が大。   |
| 高次脳        | 高次脳機能障害関係者連絡会       | 障害者生活支援課 オブリガード<br>(3391-1976)                          | 病院、作業所、日中活動、相談支援機関、包括支援センター、行政など高次脳機能障害関連機関    | 年2回   | 高次脳機能障害関係機関の情報交換、取り組み状況、医療・介護・障害等の制度変化の確認を行い、杉並区におけるネットワークの促進と啓発を図る。<br>第1回 5/28開催 21機関31名参加 「精神障害者分野における、精神障害者手帳と年金制度について」「杉並区の障害者福祉手当」について<br>研修会：9月事例検討を中心に実施予定・第2回は、11月に開催予定   |
| GH/CH      | グループホーム等世話人情報会      | 世話人情報交換会、自立生活支援センター(すだち)<br>(5310-3362)                 | 区内グループホーム世話人、自立生活支援センター(すだち・やなぎくぼ・オブリガード)      | 1回/3月 | GH(CHも含む)の世話人のスキルアップと情報交換を目的とする。一人の世話人が4~5人の入居者の支援をする現状の中で、世話人の支援の悩みを共有し、事例検討や勉強会などを行っている。H22年度は知的障害者の結婚や性的問題について講座を開催。GHガイドブックの作成や新年交流会などの企画や運営にも取り組んだ。相談支援部会のGH訪問を受け、相談支援事業所の職員との交流も図り、今後の連携について模索中。H23年度は、4月に震災時対応と課題のアンケートを実施し、話し合いをした(別紙資料参照)。講座は、消防署の協力で避難訓練講座を、また調理講座を予定。 |
|            | グループホーム立ち上げ支援プロジェクト | プロジェクト(すだち)<br>(5310-3362)                              | 育成会、済美会、いたるセンター、同愛会、NPOゲンキ、NPO練馬エンゼル、支援センターすだち | 随時    | GH(CH含む)の開設支援のため、区内運営事業所などが連携して、個人や不動産事業所からGH利用可能物件情報を受け、検討・見学・利用可能性の間取りと費用概算を検討し、オーナーに提示。オーナーの了解があれば、区内運営事業所に一斉に情報を発信、最終的にはオーナーと希望事業所間で賃貸借契約のうえ、GH活用開始となる。H22年6月から5件の情報があり、その都度開催。実際に複数のGH開設につながっている。H23年度は、情報が停止状態になっており、杉並宅建協会などに協力依頼を検討中。                                    |
| 居宅・移動事業所支援 | 障害者ヘルパー支援事例交流・検討会   | 居宅介護・移動支援事業所幹事会(有志)(すだち)<br>(5310-3362)                 | 居宅介護・移動支援事業所、自立生活支援センター(すだち・やなぎくぼ・オブリガード)      | 年4回   | 支援事例の検討と参加者の交流を通して支援の充実を目指している。支援や施策の動向等に関する情報提供、情報交換も行っている。H22年度は「介護保険に移行した方の事例」「精神障害の方への支援」「高次脳機能障害者への支援」などについて、事例検討および講師を招いての勉強会を実施した。4月には、震災時の対応と課題のアンケートを実施し、話し合いを持った(別紙資料参照)。6月には歯科医師による講演会「障害者の口腔ケアについて」をヘルパー向けに開催した。   |
| 短期入所       | 短期入所事業所連絡会          | 短期入所事業所連絡会、自立生活支援センター(すだち)<br>(5310-3362)               | 短期入所事業所連絡会、自立生活支援センター                          | 年2回   | 各事業者の受入の現状や現在課題となっている現状を交流。また共有すべき情報やネットワーク、緊急時などの連携方法を交流している。最近、利用者送迎の方法を模索する意見。申込みやすさのための連絡・協力や、事業所の特徴を伝える手立のため、パンフレット作成準備。また、人材確保の困難さ、短期入所利用枠不足が話し合われている。   |